

山梨医療安全研究会会報

第3回大会が開催されました！

2月2日(土)山梨医療安全研究会第3回大会・総会が看護研修センターで開催され、総勢173名の方が参加されました。今年度会員数も176名、メーリングリスト参加者も22名となり、研究会の活動も山梨に根付き始めた中での開催となりました。

総会では、3つのプロジェクト活動の成果が発表され大変好評でした。「医療安全取り組み報告」では、8施設9題の報告があり、活発な意見交換がされました。発表された方々、本当にお疲れ様でした。また、特別講演では「医療事故の二次被害を防ぐために」と題し、医療事故当事者の方の講演がありました。当時の状況から今日に至るまでの経過や心情をお話し、胸に迫るものがありました。松下会長から「事故当事者は私たちだったかもしれない。私たちは誰でも加害者になりえる。」との感想が述べられ、いつでもヒューマンエラーが起こりえる医療現場において、医療安全のための努力をし続けていくことの必要性を再認識しました。



役員の皆さんです

<平成19年度プロジェクト活動>

1. 事故発生時対応マニュアルの検討
2. 事故防止マニュアルのあり方に関する検討
3. IT先進医療施設における研修



「医療安全の取り組み報告」ポスター発表！！

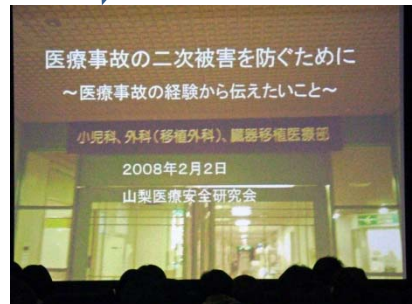
北杜市立甲陽病院・富士吉田市立病院・春日居リハビリテーション病院などをはじめとする8施設が参加しました。病棟におけるKYT(危険予知トレーニング)の実際、離床センサーコールの内容分析、転倒タイプ分け及び標準看護計画など、転倒転落に焦点を当てた報告が4題あり、永遠の課題だと感じました。そのほか、検査室におけるインシデントと対策、内服自己管理、手術室におけるFFP(新鮮凍結血漿)融解方法、安全パトロール、医療事故に関するものなど、多岐にわたりました。会場に集まった方々と活発に意見交換がされていました。来年度は、もっともっと沢山の施設が参加して多くの情報交換の場になっていければと思います。(詳しくは当会ホームページ <http://www.ymss.jp/>をご覧ください)



とても参考になりました！

辛い経験をきちんと自分のものとして向き合い、その経験を他に広めながら医療事故防止に向き合っていくという姿勢が伝わってきました。

事故を起こしにくい環境作り、フォローアップ体制など、今後しっかり取り組みたいと思いました。



お知らせ

積極的にご参加ください！

<平成20年度事業計画>

～研修会～

第6回: KYT(危険予知訓練)

日時☆7月26日(土)13:30～ 山梨県立大学にて
(受付開始しました！)

第7回: 事故分析手法(Medical SAFER)

日時☆11月29日(土)1日コース

～プロジェクト～

1. 事故後の対応シミュレーションの評価

2. 施設見学(武蔵野赤十字病院)

日時☆9月19日(金)

3. 共同研究(現実の医療水準の検証)



ニュース

～「医療安全情報」をご存知ですか？～

(財)日本医療機能評価機構 (<http://jqchc.or.jp/html/index.htm>)、(独)医薬品医療機器総合機構 (<http://www.info.pmda.go.jp/>)より、ホームページ上でそれぞれ「医療安全情報」が出されています。医薬品医療機器総合機構からは2008年3月付で、「気管切開チューブへのスピーチバルブ等の誤接続の注意について」が掲載されています。図説入りで大変わかりやすい内容になっていますので、ご活用ください。